

ナゴとろ あせち

下せち料理の力多々分不来た

先月も来といふが 今度作不格的に

最初に 玲嬢おせち 十二月二十八日 二十九日

早や不とどけ 承別 可也

とかいてある

そのおとどろく

デイトの おせち 十四種

のむらのおせち

たし態 金茶寮 わうびの里 在だり

美野吉 人魚の賛否両論 北太路打著仙人の

マゴ 中い 銀堂の花嫁 紀文

ホヤル 岡録 ニエーオー夕三 不不不不不不

懐中 ありはもろかきろい

こんろと たくさ人 びると

ほをどろ見て ちいおわわろ

料理を 見ののを やめたして

料理人 お店 取一 下す 子か 見ると

とし 上

それ けろころ 不もしろい

皆 働業するまでには いろんなところへ
 へて有名店と行っていいよ
 それを昔前と思わせよ ことを早く
 定評を「あせろ」に「フレット」にのっけてい
 ど「道も」ここに「あせろ」は「大変な」ことだ
 見た目も美しい 「あせろ」の「夕口」が
 次の年も 又その次の年も
 のこと「あせろ」の「あせろ」は「あせろ」
 あせろは「あせろ」の「あせろ」
 あせろは「あせろ」の「あせろ」

2022
 10/15